

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年12月5日更新

事務事業名	アニメ・マンガを活かした地域活性化事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名	坂本政誠
	施策	13	働く場の確保と企業誘致の促進			所属課	まちづくり戦略室	担当者名	太田徹
	基本事業	40	企業誘致の促進			所属班	戦略班	(内線)	1233
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : -		
	一般	2	1	9	11586		コスト削減優先度評価結果 : -		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	日本のアニメ・マンガ等のポップカルチャーは、海外でも高い評価を受けており、熊本に縁のある多くのクリエイターが活躍している。今回の事業は、こういった背景の中、これからコンテンツ産業に携わろうとする意欲のある学生・社会人を対象に、国内で活躍される講師陣による教育を行ない、有能なクリエイターを育成する目的とする。 (合志市を紹介するマンガアプリ・合志市を紹介するアニメアプリ・制作キャラクターを使った合志市を紹介する観光ガイドアプリ・制作キャラクターを使った合志市を紹介するゲームアプリ) また、アニメ・マンガのクリエイター育成塾「響創塾」を合志市で行なうことにより、将来的には制作コンテンツを活用した国内・海外からの観光客誘致、アニメーション制作企業誘致と雇用創出を目標とする。
【業務の流れ】	熊本高等専門学校にて、半年間(月1回、全6回)のクリエイター育成塾「熊本こうし響創塾」を開催。マンガ・アニメコンテンツ業界へ就職を目指したい熊本高等専門学校の生徒だけでなく、大学生・社会人にまで門戸を広げて実施する。講師には、「響創塾」の方々だけでなく、熊本出身でマンガ・アニメ業界で活躍されている方も招聘する。事業効果を把握するため、各回の講座修了後にアンケートを実施、事業効果の検証を行い、全6回終了後に報告書を作成・提出する。
【主な予算費目】	需用費及び委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・農業の遊休地・後継者問題更には雇用問題の解消を行うことは市の責務でもあり、市長マニフェストでは、この対策としてアニメ文化を活かした(例えば、デジタルコンテンツ産業の誘致、原画家の育成等)取り組みとして掲げている。 ・全国では、マンガ・アニメ文化によるまちづくりに取り組んでいる自治体が増えている。県議会及び本市を含む近隣市議会においてもマンガ・アニメによるまちづくりに関して一般質問が行なわれ関心が高まっている。 ・包括連携協定を締結している熊本高等専門学校からはぜひこの事業により、同校の人的資源を活かすと共に、新たな施設ICTセンターを利用した地域貢献を行ないたいとの意見が寄せられている。合志市出身の漫画家を活かしたまちづくりを求めた声がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
クリエイター育成塾「熊本こうし響創塾」の開催 1. 研修内容コンテンツ設計 2. 募集告知 3. 講座実施 4. 検証	熊本こうし響創塾の運営支援
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 響創塾の開催回数	回 県補助金等の財源収入未定のため事業費の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・アニメ・マンガコンテンツクリエイターを志望する人 ・クリエイターを育成する場所	(単位) → ア: アニメ・マンガコンテンツクリエイター志望者 人 イ: クリエイターを育成する場所 ケ所
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・クリエイターとして育成する ・クリエイター育成の拠点として環境を整備する	(単位) → ア: クリエイターの育成人数 人 イ: クリエイターの育成箇所数 ケ所
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠 企業誘致に伴う雇用創出	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
①活動指標	ア	回			6	6	0	0	0	0
	イ									
②対象指標	ア	人			20	20	0	0	0	0
	イ	ヶ所			1	1	0	0	0	0
③成果指標	ア	人			20	20	0	0	0	0
	イ	ヶ所			1	1	0	0	0	0
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	(A)事業費計	千円			0	0	0	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			0	3	0	0	0
	延べ業務時間	時間			0	996	0	0	0	0
	(B)人件費計	千円			0	4,054	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円			0	4,054	0	0	0	0

事務事業名	アニメ・マンガを活かした地域活性化事業	所属部	政策部	所属課	まちづくり戦略室
-------	---------------------	-----	-----	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 包括連携協定を行っている熊本高専とグラウンド12の協力により、計画していた年6回の授業を実施することができた。また、塾生も初めて指導されることが多く今後も機会が欲しいとのことであった。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 九州で響創塾を取り組んでいるのは本市のみであり、アニメ等関連の企業より評価を得ているが、目標とするコンテンツ企業の誘致までは法規制の緩和や可能性から判断し、達成まで時間を要する。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 参加された塾生の技術活用や人材の育成について検討する必要がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似する事業はない。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 市の予算は使用していない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の人数で実施しているため削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 今回の事業は市民募集による取り組みであり、将来的に企業誘致へと繋ぐ政策として実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 将来的にコンテンツ企業の誘致を目的にしているため行政の責務である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

H25.3.31のキャラクタードラフト会議にて企業数社よりキャラクターの採用協議が行われた。また、職員ポロシャツ・地域公共交通弁天カード・ごみ減量ポスター・商工会にてキャラクター及びロゴが活用された。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 キャラクターの認知については時間を要するため、各事業事務における積極的な活用と地元企業等への紹介等を必要とする。																					